

第31回（10-12月期）

川口商工会議所リアルタイム景況調査

2023年2月 川口商工会議所

調査概要・回答者属性

調査概要

- 調査期間 : 令和5年1月20日～1月27日
- 調査対象 : 会員事業所 400件 (FAX237件、メール248件、重複85件)
- 回答数 : 回答数 : 130件 回答率 : 32.5%
- 調査方法 : FAX・メールによる送付、FAX・Web (Googleフォーム) による回答
- 分析方法 : 売上、採算、従業員、業況などについて、「増加」(好転など)と答えた企業割合から、減少」(悪化など)と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析

(DI:Diffusion Index)

回答者属性

問1 (1) 業種、(2) 業歴、(3) 資本金、(4) 従業員

業種	実数	%
製造業	40	30.8%
建設業	19	14.6%
卸売・小売業	25	19.2%
飲食業	11	8.5%
サービス業	22	16.9%
その他	13	10.0%
総計	130	100.0%

従業員数	実数	%
0～5人	61	46.9%
6～20人	23	17.7%
21～50人	20	15.4%
51～100人	7	5.4%
101～300人	9	6.9%
301以上	4	3.1%
未記入	6	4.6%
総計	130	100.0%

業歴	実数	%
5年未満	2	1.5%
5～10年	6	4.6%
11～20年	20	15.4%
21～30年	14	10.8%
31～40年	12	9.2%
41～50年	13	10.0%
51～60年	27	20.8%
61～70年	13	10.0%
71年～80年	14	10.8%
81年～90年	4	3.1%
91年～100年	1	0.8%
101年以上	4	3.1%
総計	130	100.0%

資本金	実数	%
個人事業主	18	13.9%
500万円以下	28	21.5%
500万円超～1千万円以下	28	21.5%
1千万円超～3千万円以下	25	19.2%
3千万円超～5千万円以下	14	10.8%
5千万円超～1億円以下	9	6.9%
1億円超～	8	6.2%
総計	130	100.0%

調査結果概要

<箇条書きスタイルについて>

- ・ データやグラフの説明
- データやグラフの結果から読み取った考察

<業種DI>

- ・ 製造業では、仕入DIが全業種の中で最も数値が悪く今期▲87.5となった。
- ・ 建設業の、従業員DIは前期から回復傾向にあるが、依然として全業種で最も高い数値であり、人手不足傾向が継続している。
- 円安緩和や上海ロックダウン解除、中国のゼロコロナ政策転換で物流が一部回復し、仕入単価は改善、それに伴い採算も改善している。
- しかし、物価高による消費マインド減退で、売上高DIが減少。

<現在認識している経営上の問題点>

- ・ 「人材採用や育成にコストがかかっている」
- ・ 「エネルギー価格高騰で利益を圧迫している」

<コロナによる経営への影響>

- ・ 全業種の回答として「既に改善の影響がある」「今後、改善の影響が見込まれる」「特に影響はない」が半数を下回っている。
- 特に飲食業やサービス業で、感染拡大によるコロナの影響が再度強まっている傾向がある。

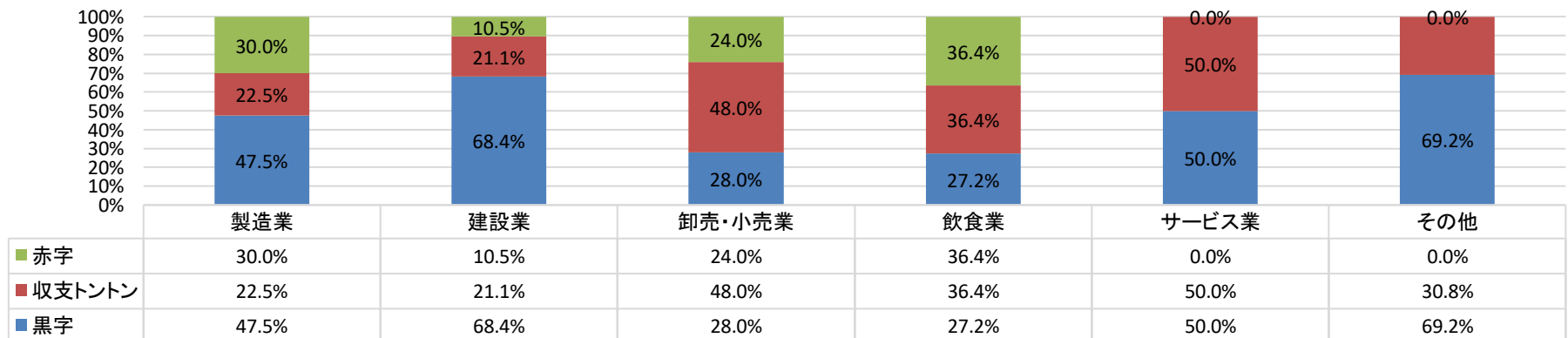
<2022年の採用実績>

- ・ 卸売・小売業を除いて、他の業種は積極的に採用を進めている。
- いずれの業種も採用が計画通り進まなかったことが見受けられる。背景には採用コストの高額化が考えられる。

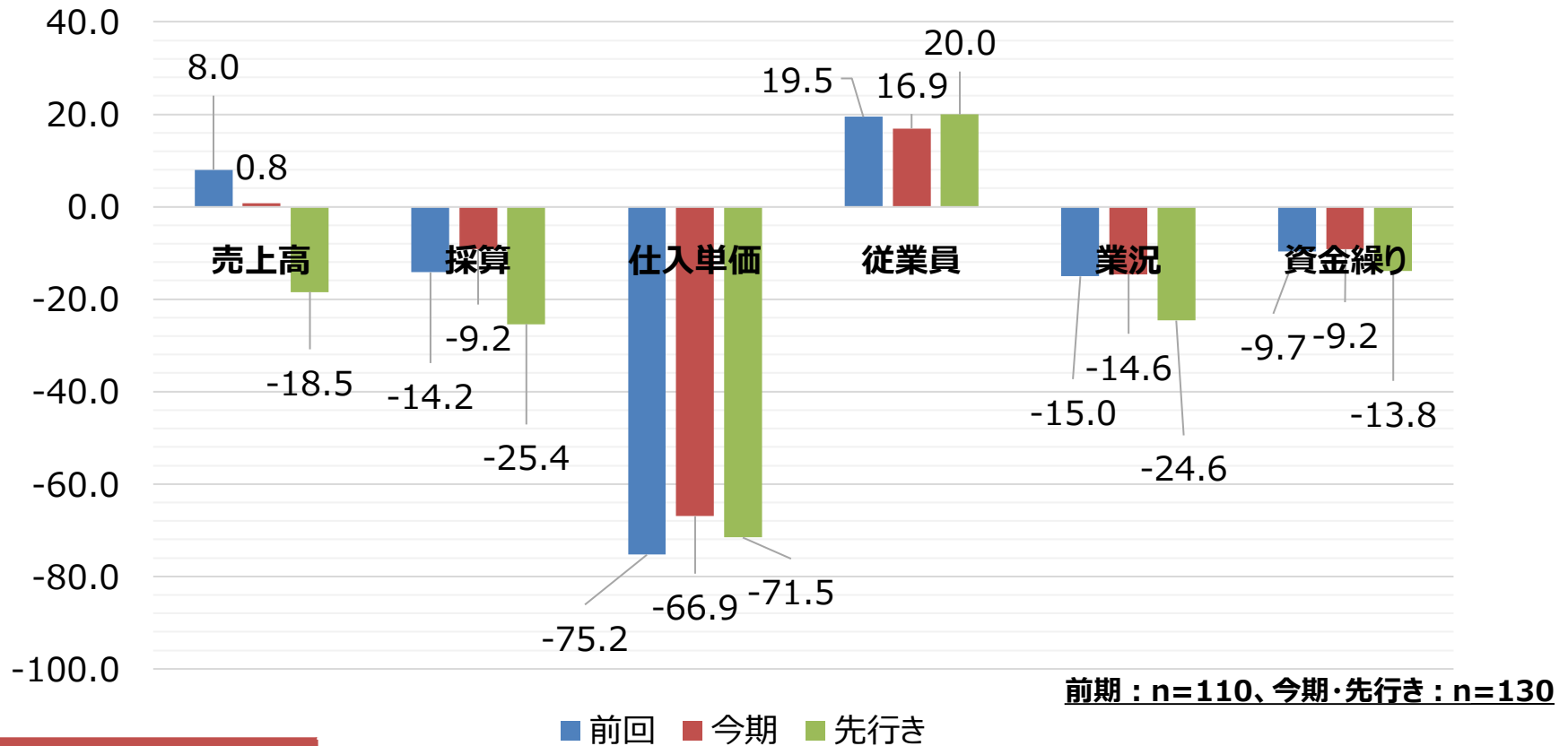
<電気料金値上げの影響>

- ・ 電気料金の値上げ幅は最大40%以上にも上る。
- 電気料金だけでなく、エネルギー全般の高騰に対する厳しい声と、行政への働きかけを求める要望が拳がっている。

問1 (5) : 収益状況 (直近の決算、それ以外は今期の見込み)



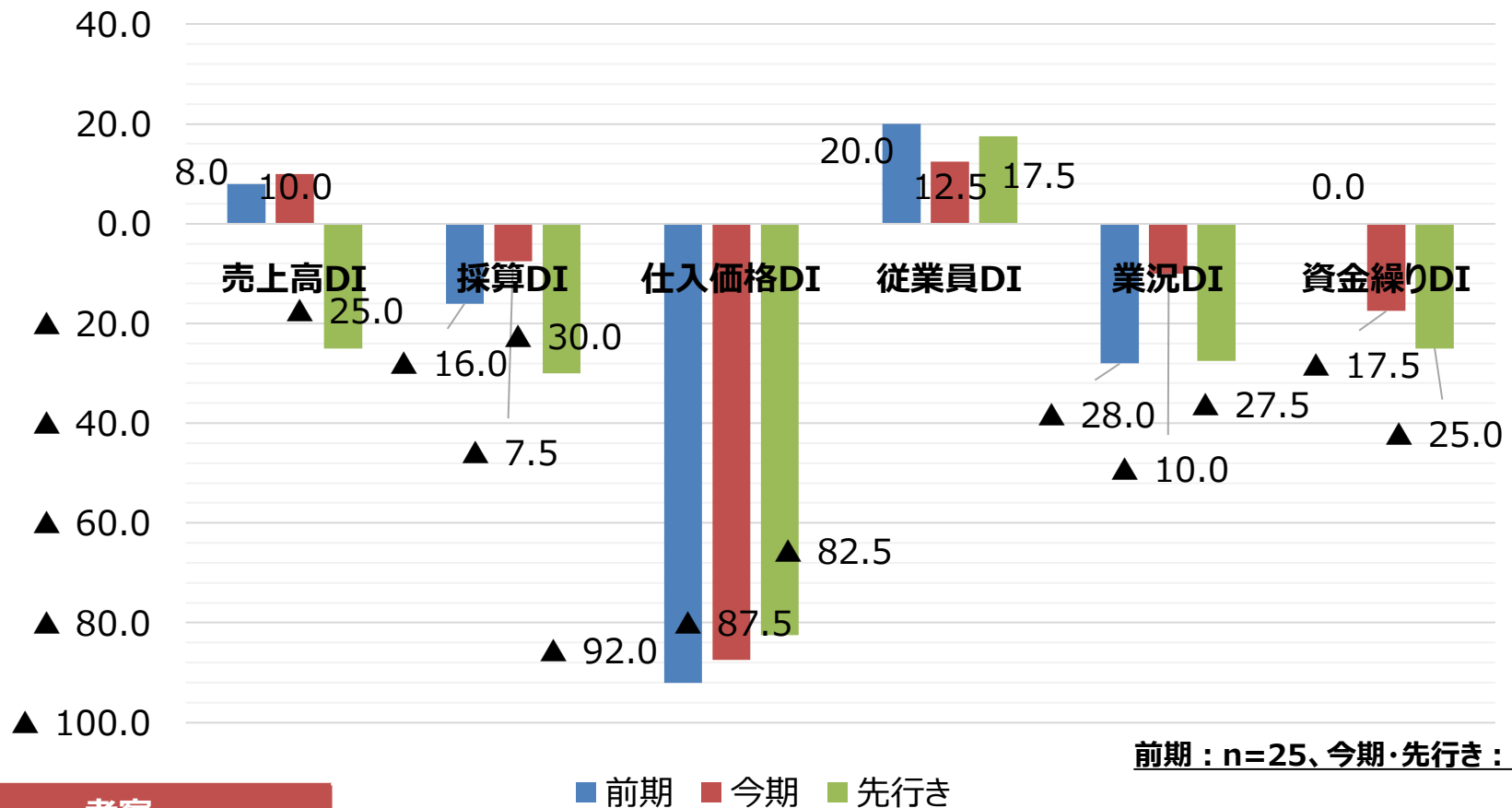
問2：景況感について | 全業種DI（前回-今回-先行き）



考察

- 売上高DIに関して、今期（10-12月）は、前期（7-9月）から7.2ポイント減少している。
- 仕入単価DIを見ると、今期は、前期から8.3ポイント改善した。採算DIも5.0ポイント改善。
- 一方、先行き（1-3月）では、売上高DI・採算DI含めすべての項目で悪化の見通しを持たれている。
- 円安緩和や物流網の一部回復により仕入単価は改善、それに伴い今期の採算も改善。
- しかし、物価高の長期化による消費マインド減退が起こり、売上高DIが大きく減少している。もしくは、減少する見通しの業種がある。

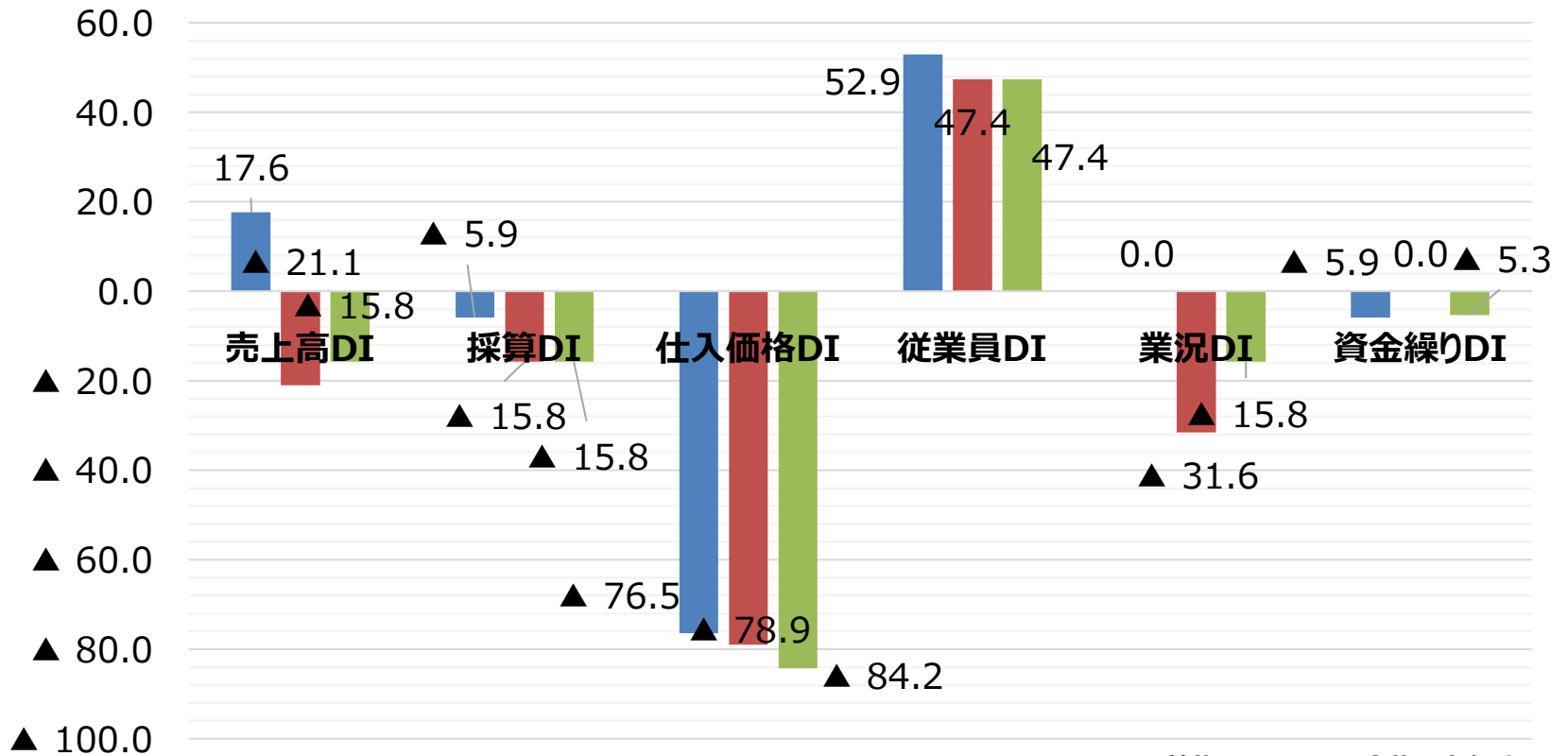
問 2 : 景況感について | 製造業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 製造業では、前期（7-9月）と今期（10-12月）を比較すると、採算DIが8.5ポイント回復、業況DIも18.0ポイント回復した。一方、今期と先行き（1-3月）を比較するといずれも減少。
- 仕入価格DIは、前期から4.5ポイント改善し、先行きでは5.0ポイントの回復見込みもあるが、全業種の中で最も数値が悪く今期▲87.5となった。
- 円安緩和や部品供給網の一部回復があり仕入価格が改善、それに伴い採算も改善するも、輸出減や国内の不景気による内需減少により今後の受注が減る見通しがあり売上高DIの先行きが35.0ポイント減少となっている。

問2：景況感について | 建設業DI (前回-今回-先行き)



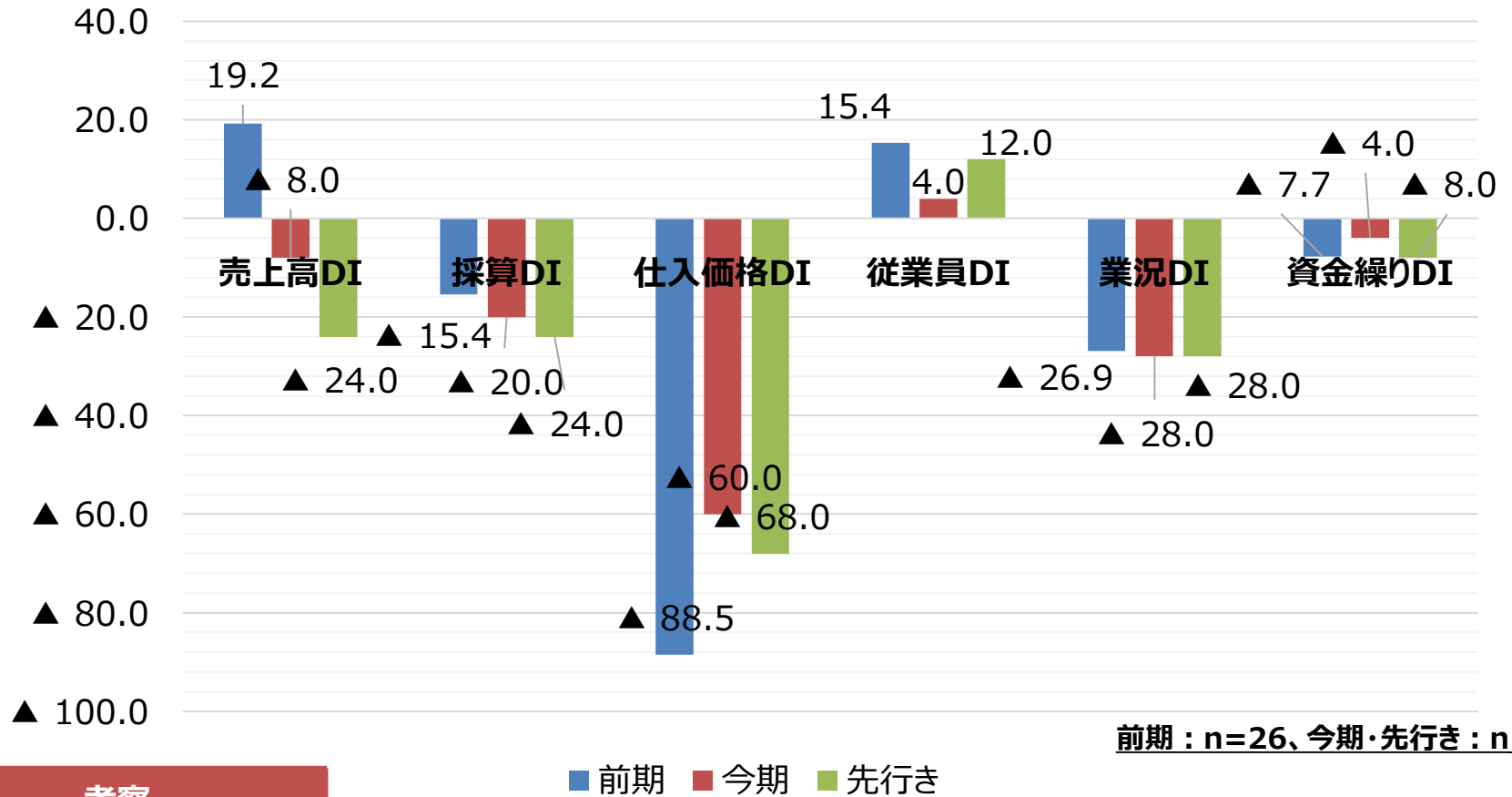
前期：n=17、今期・先行き：n=19

考察

■ 前期 ■ 今期 ■ 先行き

- 建設業では、今期（10-12月）の売上高DIが前期（7-9月）と比較して38.7ポイント減少している。業況DIについても前期から31.6ポイント減少しているが、先行き（1-3月）では15.8ポイント回復の見通し。
- 仕入価格DIは、今期▲78.9で前期から悪化しており、先行きではさらに5.3ポイント悪化の見通しである。
- 依然として建設資材価格の高騰が続き、深刻な人手不足により手持ち工事の進捗に悪影響が及び売上高DI、業況DIが大幅悪化となった。
- 従業員DIは前期から5.5ポイント減少しているが、全業種で最も高い数値であり、人手不足傾向が継続している。

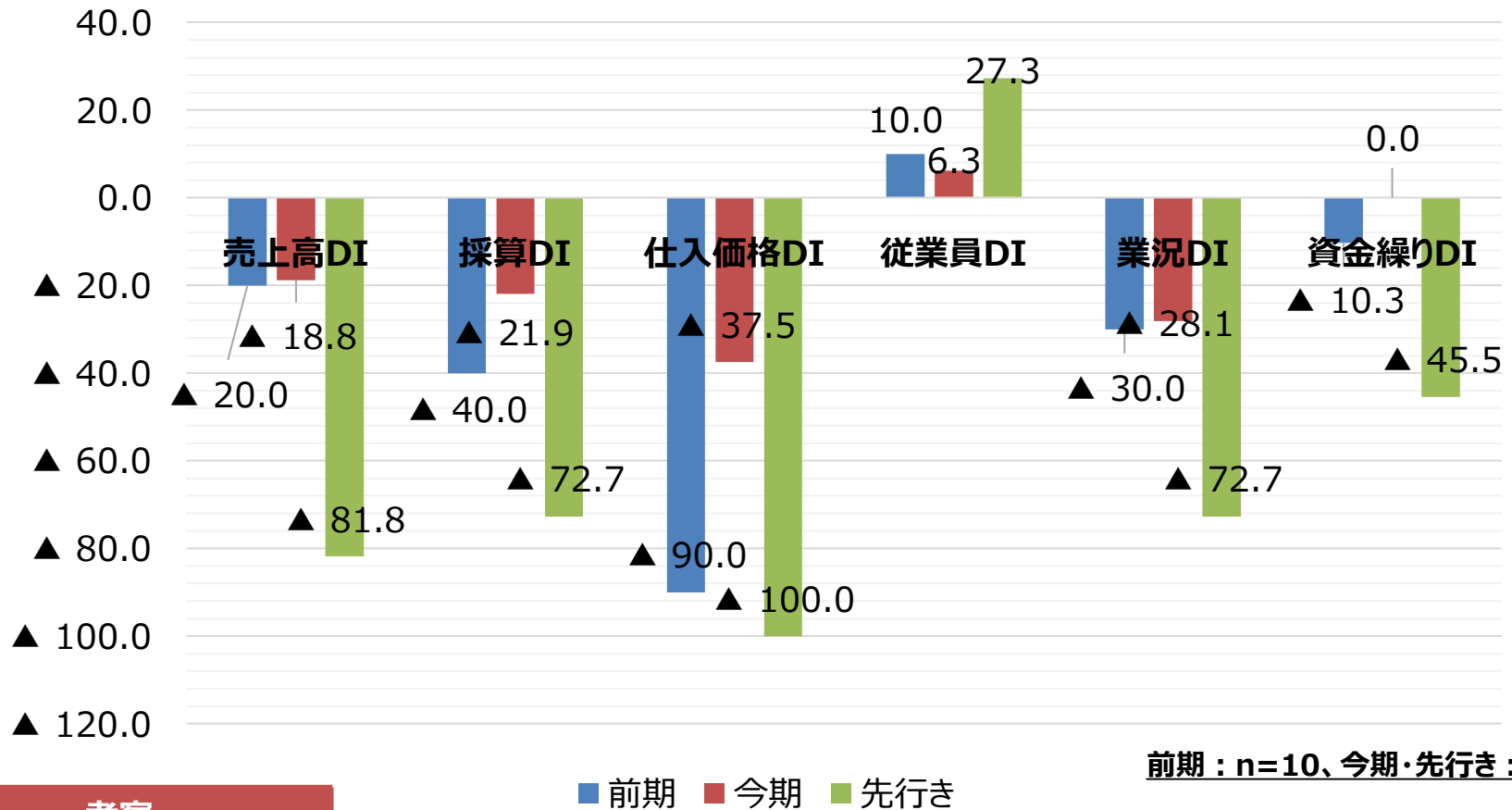
問 2 : 景況感について | 卸売・小売業 (前回-今回-先行き)



考察

- 卸売・小売業では、前期（7-9月）と比較して今期（10-12月）の売上高DIが27.2ポイント減少しており、先行きではさらに16.0ポイント減少の見通し。
- 採算DI、業況DIについては前期と比較していずれも悪化し、先行きではこの水準が継続する見通し。
- 物価高による消費マインド低下による売上高減少に加え、燃料高騰による輸送コスト上昇で採算・業況は低水準が続く。
- 一方で、円安緩和により、仕入価格DIは前回と比較して28.5ポイント改善している。

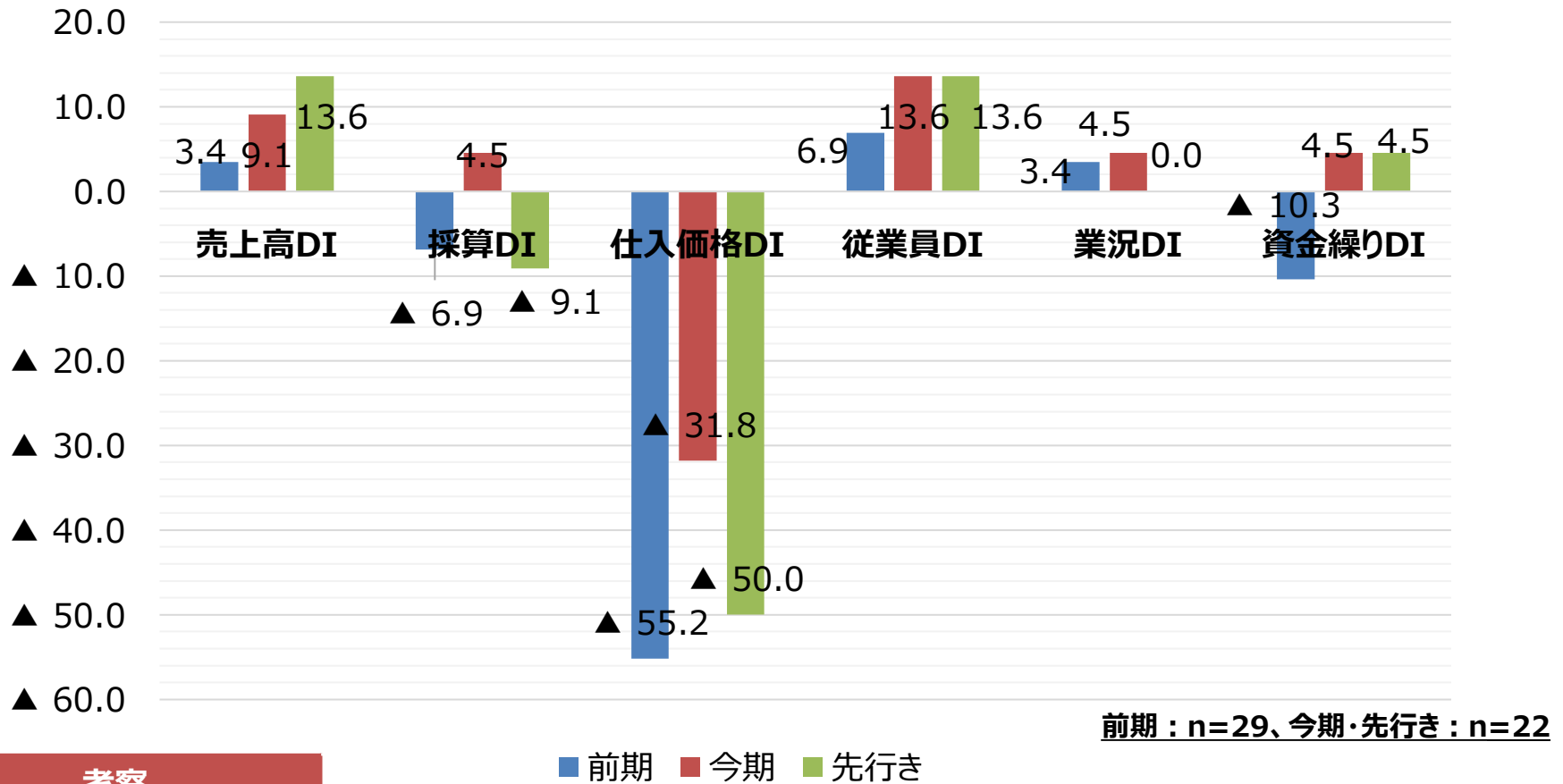
問2：景況感について | 飲食業DI (前回-今回-先行き)



考察

- 飲食業では、前期（7-9月）と比較した今期（10-12月）の売上高DIは1.2ポイント、採算DIは18.1ポイント、仕入価格DIは52.5ポイントそれぞれ改善。しかし、いずれのDIも他業種と比較しても大幅悪化の見通しがある。
- 資金繰りについても、他業種と比較し、最も悪化する見通しをもたれている。
- 円安緩和による仕入価格低下があり、採算DIもあわせて回復した。
- 物価高により外食志向が減衰しているため、売上高DIは63.0ポイントの減少の見通し。それに伴い、採算DIは50.8ポイント、業況DIは44.6ポイント、資金繰りDIは45.5ポイントと、いずれも大幅悪化の見通しがもたれている。

問2：景況感について | サービス業DI (前回-今回-先行き)



考察

- サービス業では、前期(7-9月)と今期(10-12月)を比較すると、売上高DIが5.7ポイント、採算DIが11.4ポイント、仕入価格DIが23.4ポイント、資金繰りDIが14.8ポイント改善した。
- 先行きについては、売上高は4.5ポイントの一方、採算は13.6ポイント、仕入価格は18.2ポイント減少の見通しがある。
- コロナの影響緩和による経済活動再開で客足が回復し、売上高DI、採算DIがいずれも回復している。
- 一方で、物価高や原材料高騰による固定費圧迫の見込みがあり、採算は悪化する見通しを持たれている。

問3-1：コロナによる経営への影響

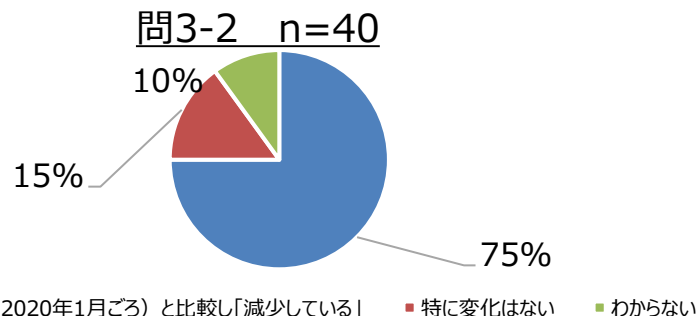
(※)「今後」とは、おおむね3か月以内を指します。

	全体 n=101	製造業 n=22	建設業 n=14	卸売・小売業 n=17	飲食業 n=11	サービス業 n=31	その他 n=6
悪化の影響が続いている	31.7%	36.4%	21.4%	17.6%	63.6%	32.3%	16.7%
今後(※)、悪化の影響が見込まれる	17.8%	18.2%	14.3%	11.8%	9.1%	25.8%	16.7%
既に改善の影響がある	15.8%	31.8%	7.1%	11.8%	18.2%	12.9%	0.0%
今度、改善の影響が見込まれる	5.9%	4.5%	0.0%	5.9%	0.0%	9.7%	16.7%
特に影響はない	21.8%	9.1%	50.0%	41.2%	0.0%	12.9%	33.3%
わからない	6.9%	0.0%	7.1%	11.8%	9.1%	6.5%	16.7%

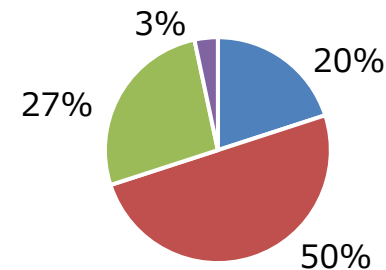
全体の割合よりも
+5%以上高い業種を色付け

問3-2：売上高の減少

問3-1で「悪化の影響が続いている」「今後、悪化の影響が見込まれる」と回答された方に伺います。



問3-2(減少率) n=30

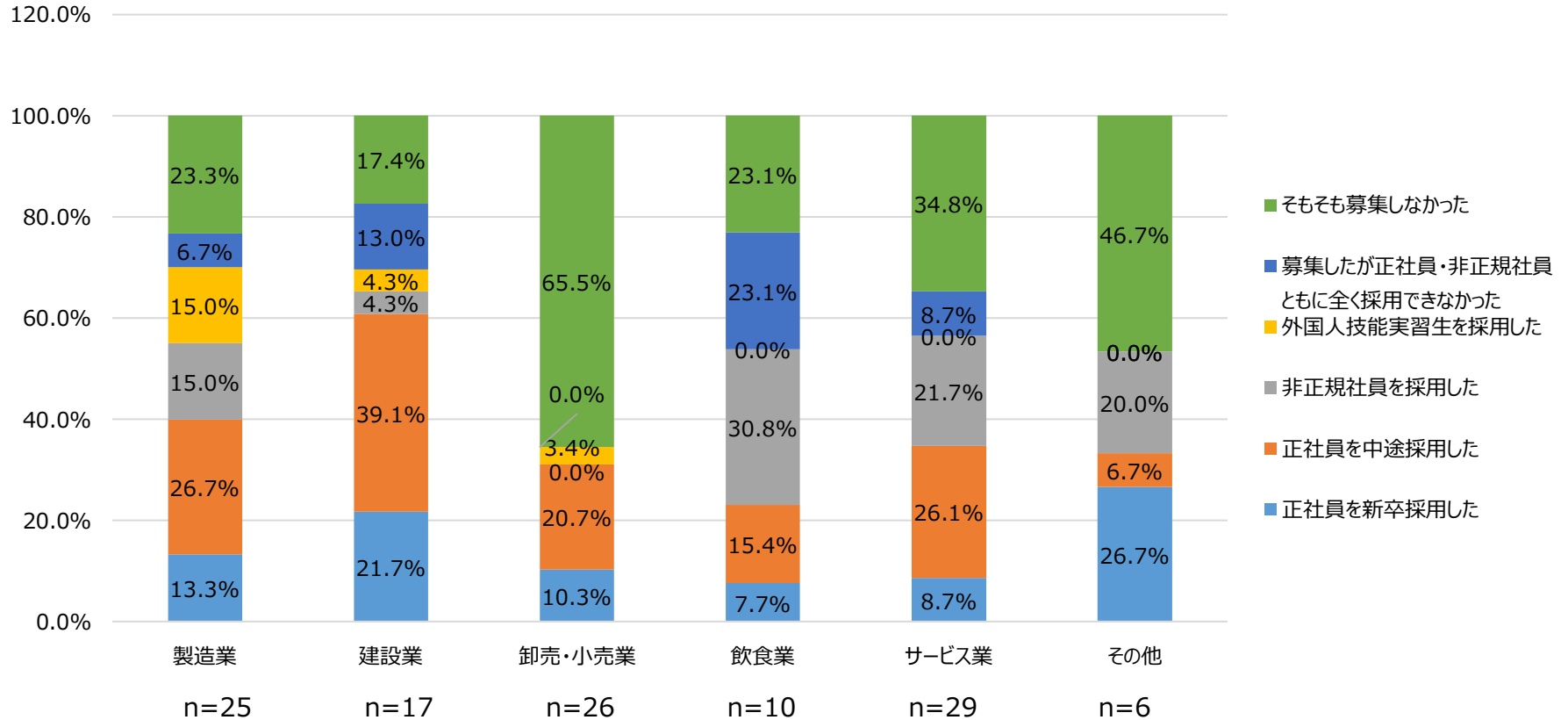


■ 10%未満 ■ 10~30% ■ 31~50% ■ 51%以上

考察

- 問3-1では、全体で「既に改善の影響がある」「今後、改善の影響が見込まれる」「特に影響はない」が43.5%であった。
- 問3-2では、コロナ前と比較して売上高が減少したと回答した割合が75%であった。さらに、その減少率が31%以上であった回答の割合は合計30%であった。
- 全国的な経済活動再開により回復傾向も期待されていたが、10-12月は感染者数が拡大傾向にあったため、飲食業やサービス業で、他業種と比較してネガティブな回答の傾向があらわれている。
- コロナについては、感染法上の分類を5類に引き下げる方針の発表があったため、影響緩和の見通しもある。一方で、「燃料高騰」「半導体不足」など長期的な問題や、「人手不足」など業界構造的に対策が必要な声も挙げられている。

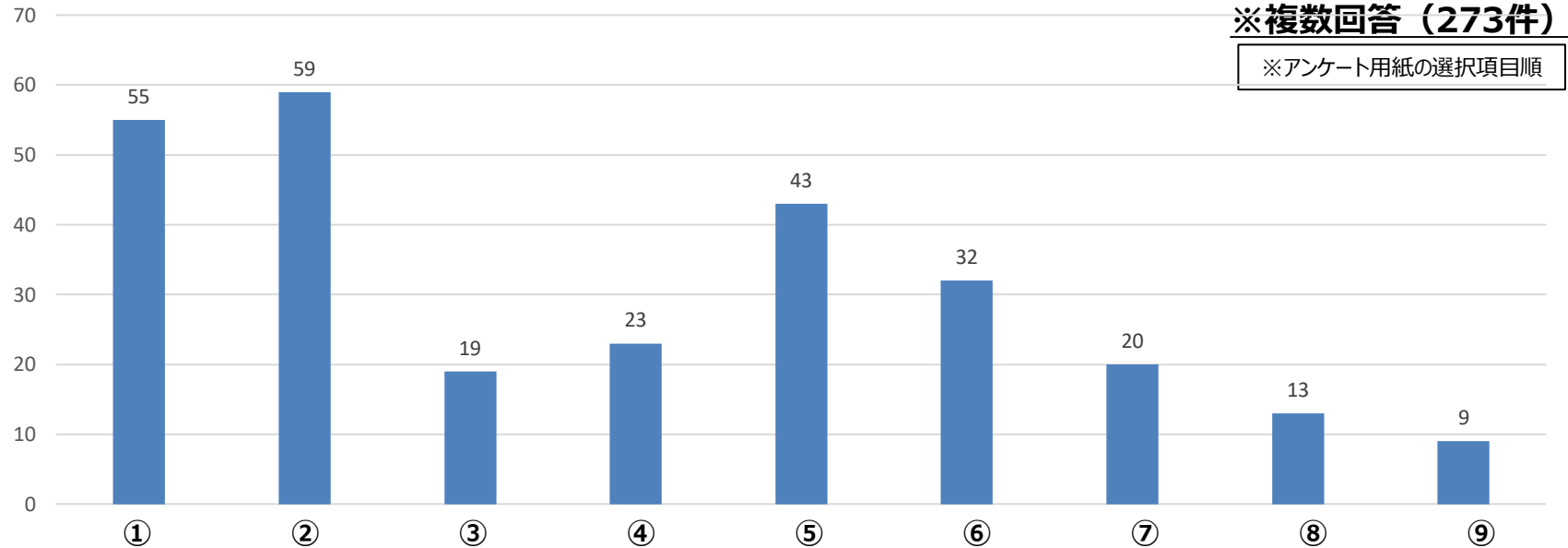
問4-1：直近1年の採用実績（令和4年1月～令和4年12月入社）について、 選択肢からお選びください。（複数回答可）



考察

- 他の業種と比較して、建設業は新卒（21.7%）および中途（39.1%）の正社員採用の割合が最も高かった。
- 「募集しなかった」と回答とした割合が高い業種は、卸売・小売業（65.5%）、サービス業（34.8%）であった。
- 卸売・小売業を除いて、新年度を目前に、採用計画が予定通り進んでいないことが考えられる。
- 外国人技術実習生は、製造業において積極的に雇用されている。
- どの業種も良質な人材を確保するには、採用コストが高額なため、そもそも採用をしたくてもできない背景も考えられる。

問4-2：貴社において利用している求人方法について、選択肢からお選びください。 (複数回答可)

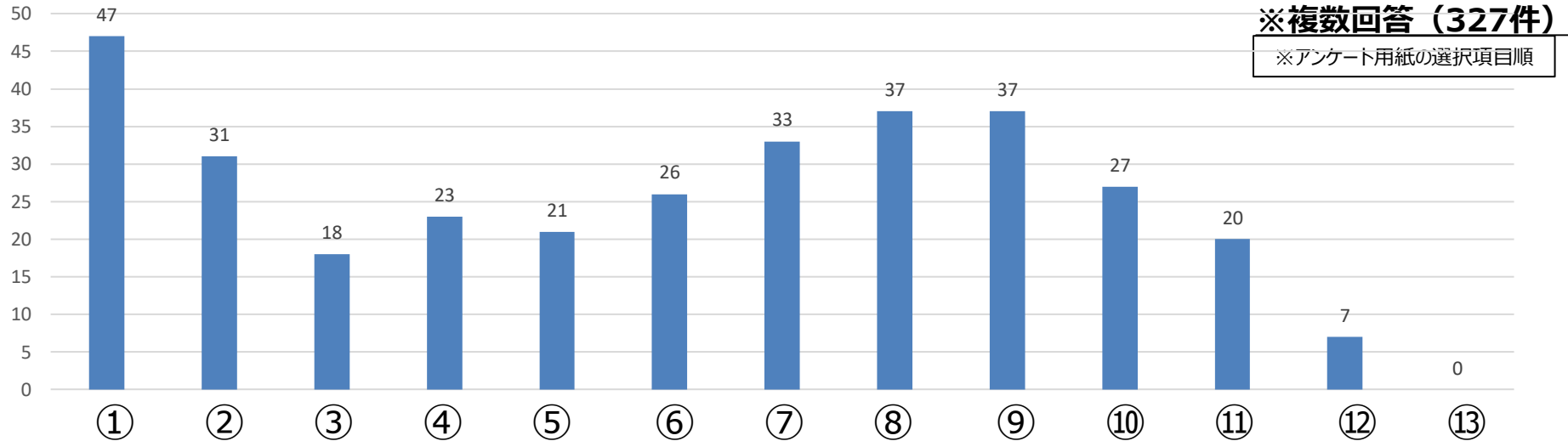


- | | |
|--------------------|---------------|
| ①ハローワーク | ⑥自社HPでの求人情報掲載 |
| ②民間の求人媒体 (WEB・求人誌) | ⑦人材派遣・紹介会社 |
| ③大学・専門学校への求人票の持ち込み | ⑧外国人技能実習生の受入れ |
| ④高校への求人票の持ち込み | ⑨その他 |
| ⑤知人からの紹介 | |

考察

- 利用している求人方法上位3項目は、「②民間の求人媒体 (59件)」、「①ハローワーク (55件)」、「⑤知人からの紹介 (43件)」であった。
- 一方で、下位3項目は、「⑧外国人技能実習生の受け入れ (13件)」、「③大学・専門学校への求人票の持ち込み (19件)」、「⑦人材派遣・紹介会社 (20件)」であった。
- その他の回答は、「社員からの紹介」「SNS活用」などを取り組んでいる声が挙がっていた。

問4-3①：貴社において、人材確保のために取り組んでいることをお聞かせください。 (複数回答可)



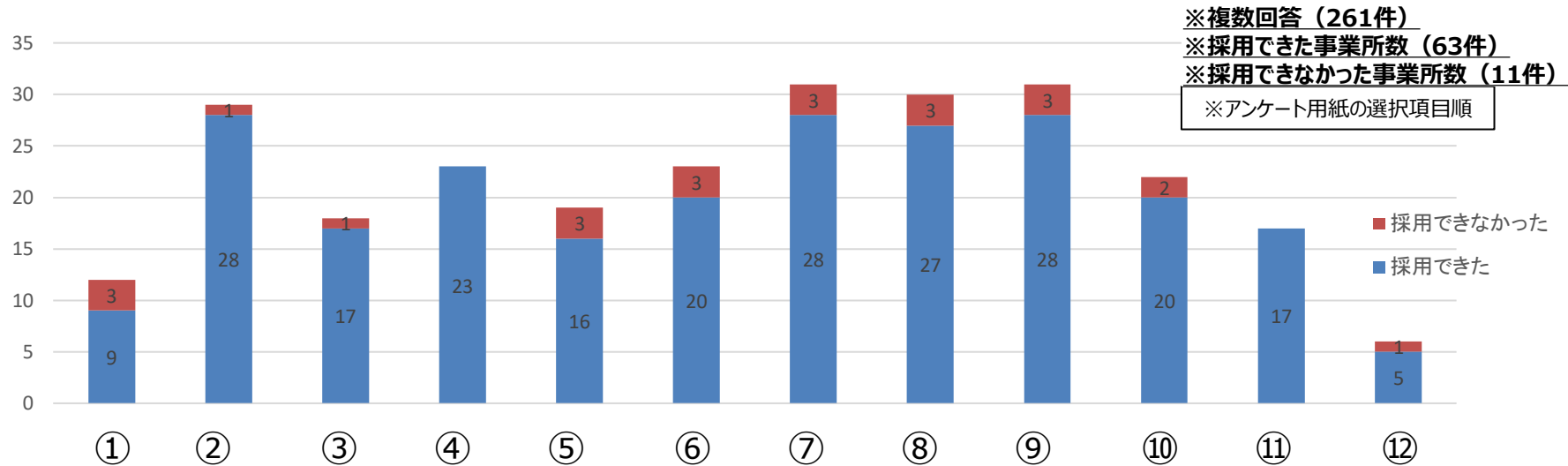
①特に取り組んでいることはない
②自社を積極的にPR
③職場見学の実施
④インターンシップの受け入れ
⑤就業制度の充実
⑥社員のモチベーションアップ
⑦人材育成の強化

⑧賃金体系の見直し
⑨職場環境の改善
⑩福利厚生制度の充実
⑪設備の充実 (休憩所等)
⑫在宅勤務制度の導入
⑬その他

考察

- 人材確保のための取り組み上位3項目は、「⑧賃金体系の見直し (37件)」「⑨職場環境の改善 (37件)」「⑦人材育成の強化 (33件)」であった。
- 燃料高騰などによる利益圧迫が続く中で、採用のための賃金引上げは企業にさらなる負担をもたらすことが考えられる。
- 在宅勤務の導入可否は業種や業態で左右されるため、最も低い値となったと考えられる。

問4-3②：人材確保のための取り組みについて 「採用できた」事業所と「採用できなかった」事業所の違い



①特に取り組んでいることはない
②自社を積極的にPR
③職場見学の実施
④インターンシップの受け入れ
⑤就業制度の充実
⑥社員のモチベーションアップ
⑦人材育成の強化

⑧賃金体系の見直し
⑨職場環境の改善
⑩福利厚生制度の充実
⑪設備の充実（休憩所等）
⑫在宅勤務制度の導入

考察

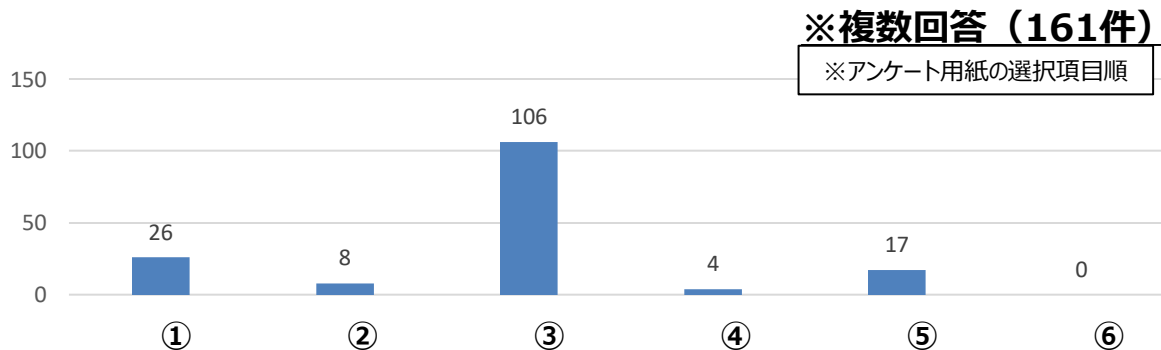
- 「採用できた」事業所と「採用できなかった」事業所の取り組みの違いとしては、「④インターンシップの受け入れ」「⑪設備の充実（休憩所等）」の実施の差があった。
- 他にも「②自社を積極的にPR」「③職場見学の実施」なども比較的取り組まれている事業所の数が少なかった。
- 採用できた事業所は平均3.7件取り組みをされ、採用できなかった事業所は平均2件の取り組みをされていた。採用確率を上げるためには、これらの取り組み数を増やすことが相関的に重要であると考えられる。

問5-1：電気料金値上げ率はどの程度かお聞かせください。

	全体 n=130	製造業 n=40	建設業 n=19	卸売・小売業 n=25	飲食業 n=11	サービス業 n=22	その他 n=13
10%未満	15.4%	5.0%	21.1%	24.0%	9.1%	18.2%	23.1%
10～20%未満	40.8%	30.0%	52.6%	44.0%	36.4%	59.1%	23.1%
20～30%未満	26.9%	32.5%	15.8%	24.0%	36.4%	18.2%	38.5%
30～40%未満	6.2%	10.0%	0.0%	4.0%	9.1%	0.0%	15.4%
40%以上	10.8%	22.5%	10.5%	4.0%	9.1%	4.5%	0.0%

全体の割合よりも
+5%以上高い業種を色付け

問5-2：電気料金値上げへの対応についてお聞かせください。（複数回答可）



- ①販売価格に転嫁している
- ②電力消費の小さい設備を導入している
- ③節電に努めている
- ④太陽光等の自家発電設備を導入している
- ⑤光熱費以外の経費を削減している
- ⑥その他

考察

- 問5-1は、全体で最も多かったのは10～20%の電気料金の値上げ率であった。製造業は40%以上の値上げ率であると回答した割合が最も多く22.5%に達した。
- 問5-2は、「③節電に努めている（106件）」回答が最も多かった。
- エネルギー価格高騰のしわ寄せを価格転嫁できずに、企業側で負担していることが見受けられる。

問6：今後の経営において、行政や商工会議所へ望むこと（トピックス）

エネルギー価格高騰、人手不足などの経済問題に対する行政要望が目立った。
 人材マッチング、採用支援、コスト削減に繋がるサービスが求められている。

カテゴリー	会員の声（一部抜粋）
経営支援	<ul style="list-style-type: none"> ● 省電力のアドバイス。（製造業） ● 人材を確保育成していくには、経費が掛かり年々増加している。成果に繋がる取組についての助成や紹介を望みます（建設業）
販路開拓	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスマッチング（建設業） ● マッチングなどをお願いしたいです。（建設業）
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な支援、協力金、補助金があれば教えて欲しい（飲食業） ● 実情にあった支援や情報提供をお願いします。（製造業） ● 各種情報提供、セミナー（サービス業） ● 多種業態の景気情報/新業態の流行り（建設業）
セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材教育への助成金や研修の充実をお願いしたい（卸売・小売業） ● 業績のよい企業の方々の講演会をスタートアップ企業にしてあげてほしい。（サービス業）
行政要望	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃上げだけでなく、販売価格の値上げの機運も同時に高める施策を望みます。（サービス業） ● 為替、円安の改善。（卸売・小売業） ● ガス料金に政府の補助（製造業） ● 価格転嫁の促進とエネルギーコスト暴騰への対策推進（製造業） ● 補助金を見直して頂き採択率を上げてもらいたい。（製造業） ● SkipCityの廃止された早稲田アカデミーをポストインキュベーション施設として川口市での新しい産業の確立に有効利用して欲しいと思います。（製造業） ● 減税（建設業） ● コロナ融資の再開（卸売・小売業）
会議所	<ul style="list-style-type: none"> ● 人材確保をバックアップして欲しい。また人材のミスマッチの解消をして欲しい。（製造業） ● 地域活性化にもご協力を賜りたい。（その他） ● 人材育成支援（卸売・小売業） ● 会員間の交流がより活発になるようなことを望みます。（サービス業） ● 採用情報や支援、人材育成の講習会、ビジネスマッチング等（製造業） ● 業種別人材マッチングアプリの開設（製造業）

参考資料 第31回 (10-12月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査アンケート用紙

川口商工会議所 中小企業支援課 総合政策係 (FAX 048-228-2221)

第31回 (10-12月期) 川口商工会議所リアルタイム景況調査へのご協力のお願い

令和5年1月20日

会員のみなさまへ (必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。)

日ごろより本商工会議所の事業運営にご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「リアルタイム景況調査」を実施しております。このたび、第31回(10-12月期)調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、1月27日(金)までに、FAX またはアンケートフォーム(右QRコード)にてご返信いただきますようお願いいたします。



皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引き続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 川口商工会議所

アンケート調査票

問1 貴社の状況についてお伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 ※複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売・小売業	4 飲食業
5 サービス業	6 その他 ()		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年～40年	6 41年～50年	7 51年～60年	8 61年～70年
9 71年～80年	10 81年～90年	11 91年～100年	12 101年以上

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超	8 その他 ()	

(4) 従業員(正社員)数(パート・アルバイトを除く)をご記入ください。

人

(5) 収益状況(直近の決算)

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分にチェックをご記入ください。

*設問の「今期」は 令和4年10月～12月としてお答えください。

1 売上高	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 減少
2 採算	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
3 仕入単価	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 下落	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 上昇
4 従業員	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 不足	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 過剰
5 業況	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
6 資金繰り	(1) 今期(7月～9月と比べ)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化
	(2) 今後の先行き見通し(1月～3月)	<input type="checkbox"/> 好転	<input type="checkbox"/> 不変	<input type="checkbox"/> 悪化

問3-1 新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)による経営への影響をお聞かせください。(いずれか1つに○をつけてください。)

- 1: 悪化の影響が続いている } 問3-2へ (※「今後」とは、おむね3か月以内を指します。)
 2: 今後(※)、悪化の影響が見込まれる
 3: 既に改善の影響がある 4: 今後、改善の影響が見込まれる 5: 特に影響はない 6: わからない

問3-2 問3-1で悪化の影響が続いている「今後、悪化の影響が見込まれる」に回答された方に伺います。悪化の影響による売上高の減少はありますか(または減少すると思われますか)。(いずれか1つ)

- 1: コロナ前(2020年1月ごろ)と比較し「減少している」
 → (減少割合 ア: 10%未満 イ: 10～30% ウ: 31～50% エ: 51%以上)
 2: 特に変化はない 3: わからない

問4 (改めて全ての方に、お伺いします)人材確保について伺います。

近年、労働力不足が深刻化しており、企業にとって採用活動の重要性が高まっています。これに関連して以下についてお聞かせください。*非正規社員とは契約社員、パート・アルバイト、派遣社員を指します。

問4-1 直近1年の採用実績(令和4年1月～令和4年12月入社)について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

- 1: 正社員を新卒採用した 2: 正社員を中途採用した 3: 非正規社員を採用した
 4: 外国人技能実習生を採用した 5: 募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった
 6: そもそも募集しなかった

問4-2 貴社において利用している求人方法について、選択肢からお選びください(複数該当する場合は全てお選びください)。

- 1: ハローワーク 2: 民間の求人媒体(WEB・求人誌) 3: 大学・専門学校への求人票の持ち込み
 4: 高校への求人票の持ち込み 5: 知人からの紹介 6: 自社HPでの求人情報掲載
 7: 人材派遣・紹介会社 8: 外国人技能実習生の受入れ 9: その他 ()

問4-3 貴社において、人材確保のために取り組んでいることをお聞かせください。(複数該当する場合は全てお選びください)。

- 1: 特に取り組んでいることはない 2: 自社を積極的にPR 3: 職場見学の実施
 4: インターンシップの受け入れ 5: 就業制度の充実 6: 社員のモチベーションアップ
 7: 人材育成の強化 8: 賃金体系の見直し 9: 職場環境の改善 10: 福利厚生制度の充実
 11: 設備の充実(休憩所等) 12: 在宅勤務制度の導入 13: その他 ()

問5-1 電気料金値上げ率ほどの程度をお聞かせください。(いずれか1つ)

- 1: 10%未満 2: 10～20%未満 3: 20～30%未満 4: 30～40%未満 5: 40%以上

問5-2 電気料金値上げへの対応についてお聞かせください(複数該当する場合は全てお選びください)。

- 1: 販売価格に転嫁している 2: 電力消費の小さい設備を導入している 3: 節電に努めている
 4: 太陽光等の自家発電設備を導入している 5: 光熱費以外の経費を削減している
 6: その他 ()

問6 今後の経営において、行政や商工会議所へ望むことをお聞かせください。

川口商工会議所では、景況調査を年一回程度で予定しております。今年度よりご回答いただきました会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。
 以下の内容をご記入ください。(非公認内容となります。)

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール (いずれか1つに○をお願いします。)
メールアドレス(メールでご希望の場合)	

ご協力ありがとうございました。*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。

問い合わせ: 川口商工会議所 中小企業支援課 総合政策係 (TEL: 048-228-2220)